

## 企業理念

私たちは  
 総合物流企業として  
 物を安全・確実に  
 運ぶことを使命とし  
 経済・社会の発展に  
 貢献します



## 監査等委員会設置会社へ移行し、経営の公正性・透明性を高め取締役の監督機能を強化するとともに、継続的な事業成長に向けた資本業務提携やM&Aを必要に応じ実行します



代表取締役社長

### 若山良孝

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスが猛威を振るい、いまだ終息が見えない状況が続いております。感染症に罹患された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復をお祈り申し上げます。

ここに第109期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の業況をご報告申し上げます。

当社主力事業の貨物自動車運送業界におきましては、ネット通販等の消費需要は底堅く、宅配貨物は増加傾向となる中、一般貨物等においては、原油価格の高騰や人手不足等の影響は大きく、また今後の世界情勢により更なる原油・資材等の高止まり要因が想定される中、経営環境は一段と厳しい状況が続くものと思われまます。

このような状況下において当社では、新型コロナウイルスの感染予防対策を継続し、必要な人員を確保しつつ、引き続き輸送中心の収益構造から付加価値の高い総合的かつ複合的な物流収益へと収益基盤改革を推し進めてまいりました。一昨年の東部神戸物流センター、昨年の東部滋賀物流センター、東部堺物流センターに引き続き、当期2021年8月には東部広島物流センターが稼働し、更に2022年1月より東部海老名物流センターが再稼働したほか、2022年2月には新たに東部大井川倉庫が竣工いたしました。

また、2022年3月30日に株式会社東北三光（宮城県塩竈市）と株式譲渡契約を締結いたしました。同社の子会社化により、営業基盤を受け継ぎ、これまで培ってきた当社の安心、安全、安定物流サービスのノウハウを最大限に活かすことにより、東北地区の営業拡大を図ります。

以上の結果、当事業年度の売上高は8,839百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益404百万円（前年同期比35.8%減）、経常利益454百万円（前年同期比39.8%減）、当期純利益273百万円（前年同期比33.8%減）となりました。

今後も3PL型営業展開を継続し、更なる収益基盤の改革を推し進め、将来に向け成長を持続させる企業基盤を創出いたします。また、継続的な事業成長に向けた資本業務提携やM&Aを必要に応じ実行するとともに、次世代バイオディーゼル給油施設設置や太陽光発電活用の拡大等を通して、サステナブルな経営を追求し、持続可能な社会への貢献を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、何卒今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 110期通期業績予想

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
9,488百万円 (7.3%増) ▲	496百万円 (22.7%増) ▲	545百万円 (19.9%増) ▲	378百万円 (38.2%増) ▲

#### トピックス

1

#### M&A

### 株式会社東北三光の全株式を取得いたしました

2022年3月30日に東北三光と株式譲渡契約を締結し、4月15日に全株式を取得、当社の子会社となりました。

仙台、秋田を中心に創業以来50年にわたり、常にセメントメーカーと共に東北インフラ事業に携わってきた同社の強固な基盤を受け継ぎ、建設需要を追い風に更なる営業拡大を図ります。



株式会社東北三光  
所在地：宮城県塩竈市  
主な事業：セメント輸送、セメント販売、出荷管理業務等

# 業績ハイライト (2021年3月期の実績数値は、2022年3月期の収益認識基準を適用したと仮定して算定した数値)

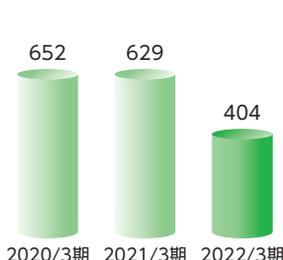
売上高 (百万円)

**8,839**百万円   
(前年同期比3.4%増)



営業利益 (百万円)

**404**百万円   
(前年同期比35.8%減)



経常利益 (百万円)

**454**百万円   
(前年同期比39.8%減)

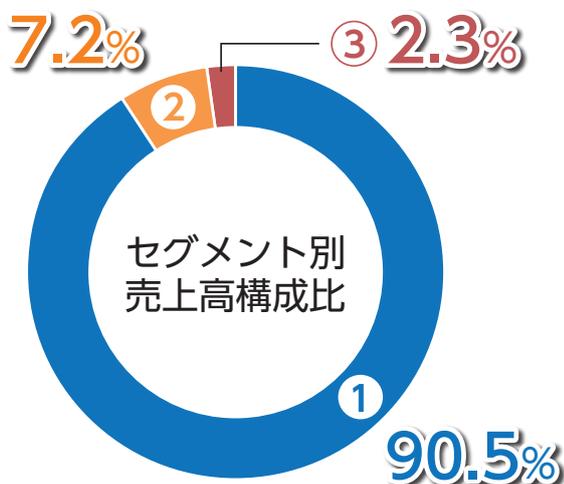


当期純利益 (百万円)

**273**百万円   
(前年同期比33.8%減)



## 事業の概況



### ① 貨物自動車運送事業

**広島および海老名物流センター稼働により増収、租税公課負担、減価償却費増などにより減益**

飲料系輸送は、需要減の影響が長引いているものの、飲料以外の輸送の確保を推進し、新たに東部広島物流センターおよび東部海老名物流センター等が稼働したことで増収となりました。セメント輸送は建設需要が増え、増収となりました。以上から、当事業の売上高は、関連業務の荷役・保管作業収入を含め、7,994百万円（前年同期比3.8%増）となり、セグメント利益は、前期完成の物流センターに係る租税公課負担および同施設の減価償却費の増加等に加え、軽油価格の大幅な上昇の影響と、新型コロナウイルス感染症拡大による経済動向が見通せない状況で、新たに稼働した物流センターに一部空室が発生したことにより、345百万円（前年同期比38.4%減）となりました。

### ② 不動産賃貸事業

**自社施設のオフィスビル満床、収益化までは一定期間を要し減収減益**



当事業の売上高は639百万円（前年同期比4.6%減）となり、セグメント利益は399百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

### ③ その他事業

**石油販売は、石油価格の影響により増収減益**



当事業の売上高は、205百万円（前年同期比13.2%増）となり、セグメント利益は31百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

## トピックス

②

サステナビリティ

### 次世代バイオディーゼル燃料でSDGsに貢献します

当社では、環境に配慮した次世代バイオディーゼルを100%利用した車両の運行を開始いたしました。また、伊藤忠商事と協働で当社の東日本エリア最大輸送基地である海老名営業所に、日本初の次世代バイオディーゼルの給油施設を設置し、今後、給油施設の国内展開を図ります。



次世代バイオディーゼルは、温室効果ガスを石油由来軽油比約90%削減

# 会社概要

## ■ 会社概要 (2022年3月31日現在)

商号 東部ネットワーク株式会社  
(TOHBU NETWORK CO.,LTD.)  
設立年月日 1943年12月30日  
資本金 5億5,303万1,250円  
主要な事業内容 貨物自動車運送事業  
不動産賃貸事業  
その他事業  
従業員数 合計289名

## 株式の状況 (2022年3月31日現在)

### ■ 株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 22,996,000株  
(2) 発行済株式総数 5,749,000株  
(3) 1単元の株式数 100株  
(4) 株主数 826名  
(5) 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
中村 亘宏	1,415	26.19
アサガミ株式会社	321	5.94
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR:FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	175	3.24
株式会社みずほ銀行	131	2.42
中村 千鶴子	120	2.22
三井住友信託銀行株式会社	110	2.03
中村 匡宏	101	1.87
丸全昭和運輸株式会社	100	1.85
芦原 一義	98	1.81
小林 茂	88	1.64

(注) 持株比率は自己株式347千株を控除して計算しております。

### ■ 株主メモ

- 事業年度…………… 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会…………… 毎年6月開催
- 基準日…………… 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日(中間配当をする場合)  
その他必要ある場合はあらかじめ公告して基準日を定めます。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) ☎0120-782-031 (インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
- 公告の方法…………… 電子公告により行います。  
<https://www.tohbu.co.jp/>  
やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所…………… 東京証券取引所スタンダード市場
- 証券コード…………… 9036

### ■ HP案内

当社では、株主・投資家の皆さまおよび一般の方々に当社の事業活動についてご理解いただくため、ホームページ内でさまざまな情報を掲載しております。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

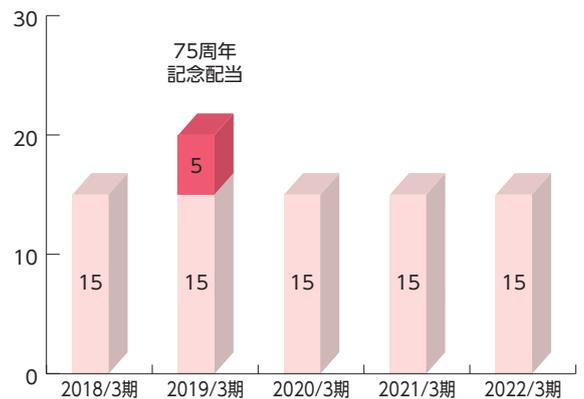
## ■ 役員一覧 (2022年6月28日現在)

※監査等委員会設置会社へ移行いたしました  
●取締役(監査等委員である取締役を除く)

取締役社長(代表取締役)	若山 良孝	取締役常勤監査等委員	高山 裕之
専務取締役兼専務執行役員(代表取締役)	三澤 秀幸	取締役監査等委員	野口 誠
取締役兼執行役員	安藤 功	取締役監査等委員	稲村久仁雄
取締役兼執行役員	福田 哲郎	取締役監査等委員	尾崎 眞二
取締役兼執行役員	阿部 悟志		

(注) 取締役 野口誠、稲村久仁雄、尾崎眞二の3氏は社外取締役であります。

## ■ 配当金の推移 (円)



## 株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。(所要時間は5分程度です)

- ①下記URLにアクセス
- ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

<https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 9036

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……

検索窓から

[kabu@wjm.jp](mailto:kabu@wjm.jp) ←こちらへ空メールを送信  
「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
<https://www.link-cc.co.jp>  
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」  
MAIL:info@e-kabunushi.com (2201)

## 株主アンケート結果ご報告

第109期中間株主通信においてお願いいたしました「株主アンケート」にて株主の皆さまからのご回答を頂戴いたしました。

### 株主の皆さまからのご意見(一部)

- 大変な時期だが、がんばってほしい。
- 厳しい環境ですが、更なる発展を期待しています。
- 物流事業の安全確保と発展を期待。

皆さまからご意見を頂戴しましたこと心からお礼申し上げます。ご回答内容を真摯に受け止め、今後の株主通信発行、またIR活動に活かしてまいります。